令和８年２月１２日

石川県の年齢別推計人口　～令和７年１０月１日現在～

（令和２年国勢調査に基づく推計）

デジタル推進監室統計情報室
人口労働グループ　太田、熊谷
TEL（076）225-1344（直通）
内線 3759

令和７年１０月１日現在の石川県の年齢別推計人口について取りまとめました。
概要は以下のとおりです。

注１　この数値は、令和２年国勢調査を基準として推計を行ったものであり、令和７年国勢調査結果とは異なる。
　２　この数値は、外国人を含んでいる。
　３　総人口には年齢不詳を含むが、年齢別人口割合は分母から年齢不詳を除いて算出している。
　４　数字の単位未満は四捨五入を原則としたので、合計の数字と内訳の計が一致しない場合がある。

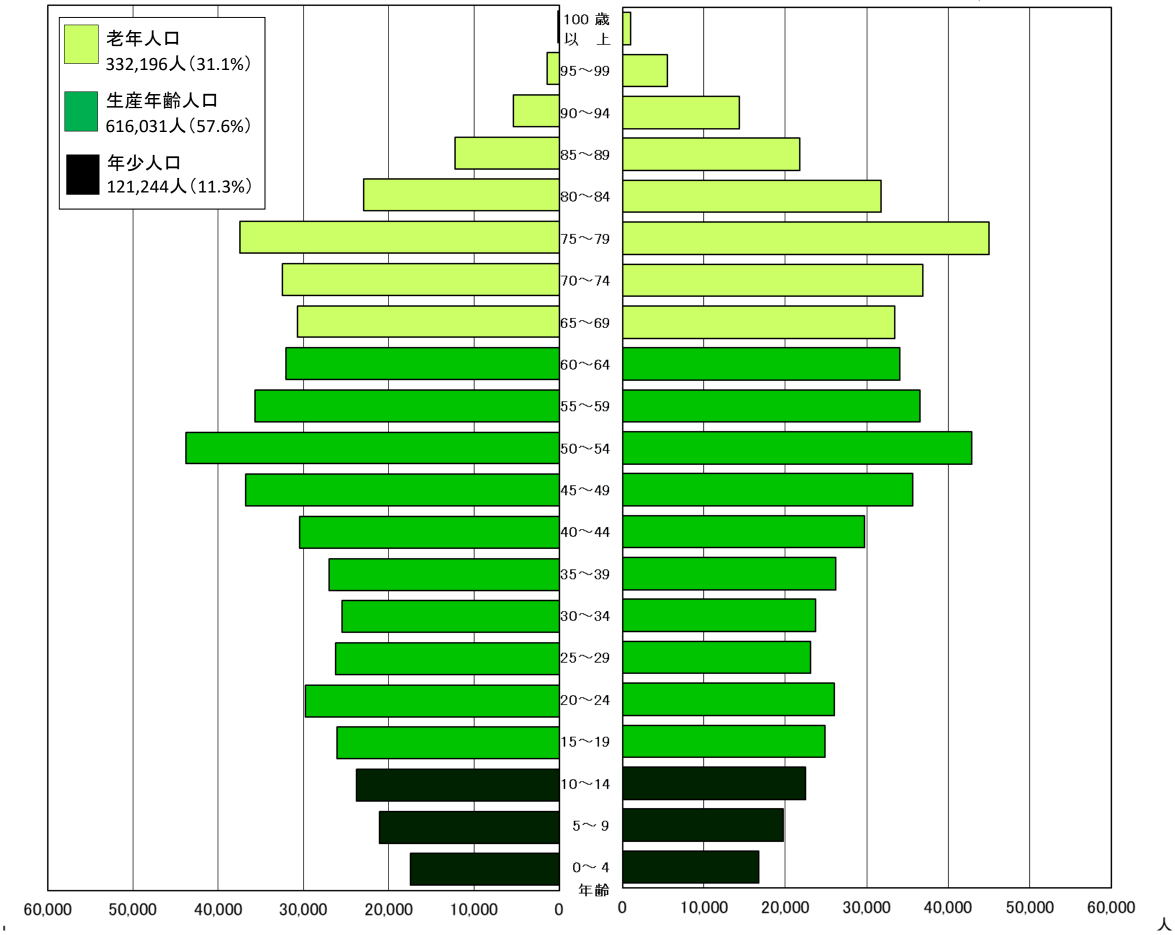
１　年齢（５歳階級）別人口

最も多いのは、５０～５４歳の８６，６８５人

５歳階級別人口では、５０～５４歳が８６，６８５人と最も多くなっている。
次いで多いのは、７５～７９歳の８２，３８９人、その次が４５～４９歳の７２，４７１人となっている。

【図１、参考表１】

図1　年齢(5歳階級)・男女別人口(令和7年10月1日現在推計)



注１　７５～７９歳には、第１次ベビーブーム（昭和２２～２４年生まれ）の人口が含まれている。
　２　５０～５４歳には、第２次ベビーブーム（昭和４６～４９年生まれ）の人口が含まれている。

２　年齢（３区分）別人口

年少人口、生産年齢人口及び老年人口の全てにおいて減少

		割合	前年比
年少人口（０～１４歳）	１２１，２４４人	（１１．３％）	△ ３，２１５人（０．２ポイント低下）
生産年齢人口（１５～６４歳）	６１６，０３１人	（５７．６％）	△ ４，６６４人（同率）
老年人口（６５歳以上）	３３２，１９６人	（３１．１％）	△ ７９４人（０．２ポイント上昇）

（１）石川県の総人口

年齢（３区分）別人口では、年少人口（０～１４歳）が１２１，２４４人、生産年齢人口（１５～６４歳）が６１６，０３１人、老年人口（６５歳以上）が３３２，１９６人となっている。

総人口に占める割合をみると、年少人口は１１．３％で過去最低、老年人口は３１．１％で過去最高となっている。前年に比べ、年少人口は３，２１５人の減少（０．２ポイントの低下）、生産年齢人口は４，６６４人の減少（同率）、老年人口は７９４人の減少（０．２ポイントの上昇）となっている。

また、老年人口のうち６５歳から７４歳までは１３３，４９９人（総人口に占める割合１２．５％）、７５歳以上は１９８，６９７人（同１８．６％）であり、それぞれの老年人口に占める割合は４０．２％、５９．８％となっている。

【図２－１、図２－２、参考表２】

図2－1　年齢(3区分)別人口及び割合(令和6年･令和7年)

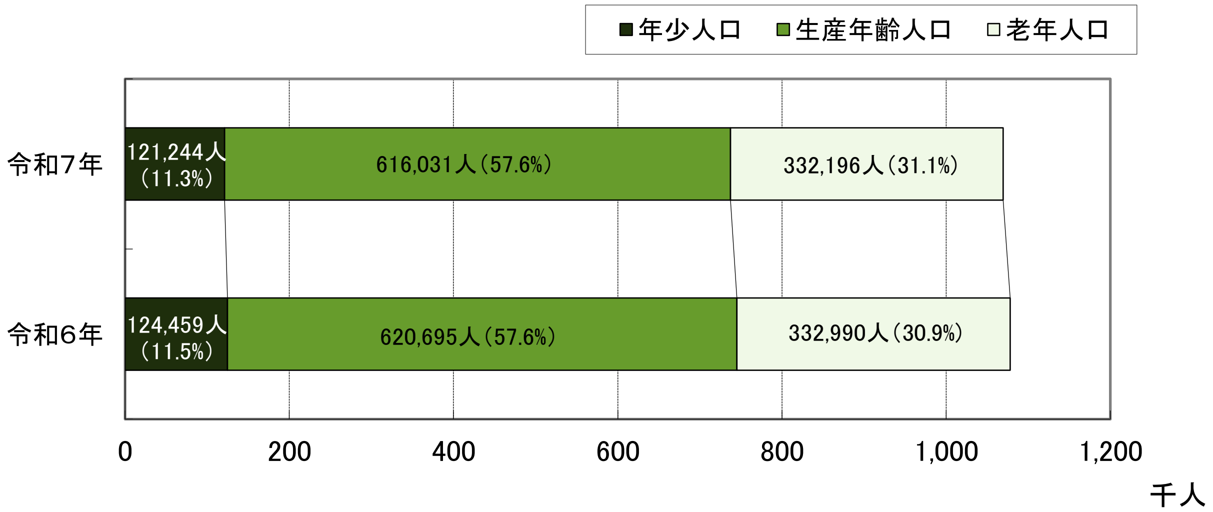
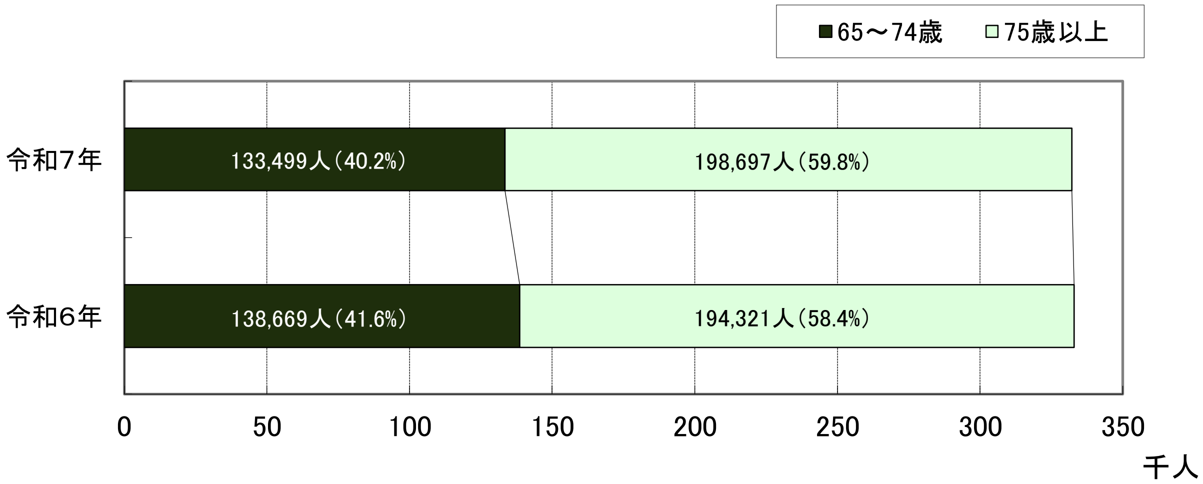


図2－2　老年人口及び割合(令和6年･令和7年)



（2）市町別人口

市町別に総人口に占める割合をみると、年少人口ではかほく市の１４．２%、生産年齢人口では野々市市の６５．６%、老年人口では珠洲市の５５．３%が最も高くなっている。

【表１－１、参考表２】

表1－1 年齢(3区分)・市町別人口割合の順位(令和7年10月1日現在)

区分	年少人口（0～14歳）		生産年齢人口（15～64歳）		老年人口（65歳以上）	
順位	市　町　名	割合（%）	市　町　名	割合（%）	市　町　名	割合（%）
1	かほく市	14.2	野々市市	65.6	珠洲市	55.3
2	川北町	14.1	川北町	60.9	能登町	54.7
3	野々市市	13.4	金沢市	60.5	穴水町	52.4
4	白山市	13.0	津幡町	60.4	輪島市	52.4
5	津幡町	12.9	能美市	60.3	志賀町	48.4
15	志賀町	7.4	志賀町	44.2	金沢市	28.2
16	穴水町	6.4	輪島市	41.5	能美市	26.8
17	能登町	6.4	穴水町	41.1	津幡町	26.7
18	輪島市	6.1	能登町	38.8	川北町	25.0
19	珠洲市	6.0	珠洲市	38.7	野々市市	20.9

（3）対前年増減率

県全体の対前年増減率をみると、年少人口が２．６%低下、生産年齢人口が０．８%低下、老年人口が０．２%低下している。

市町別に対前年増減率をみると、年少人口ではかほく市の２．４%、生産年齢人口では野々市市の０．８%、老年人口では津幡町の２．２%が最も高くなっている。

【表１－２】

表1－2 年齢(3区分)・市町別人口対前年増減率の順位(令和7年10月1日現在)

区分	年少人口（0～14歳）		生産年齢人口（15～64歳）		老年人口（65歳以上）	
順位	市　町　名	増減率（%）	市　町　名	増減率（%）	市　町　名	増減率（%）
1	かほく市	2.4	野々市市	0.8	津幡町	2.2
2	能美市	△ 1.3	川北町	0.7	野々市市	1.3
3	津幡町	△ 1.3	能美市	0.5	川北町	1.1
4	白山市	△ 1.6	かほく市	0.2	かほく市	0.8
5	小松市	△ 2.0	金沢市	△ 0.3	金沢市	0.5
15	中能登町	△ 4.6	志賀町	△ 3.3	志賀町	△ 2.3
16	七尾市	△ 6.0	穴水町	△ 5.5	穴水町	△ 2.7
17	能登町	△ 8.4	能登町	△ 5.8	能登町	△ 3.1
18	輪島市	△ 12.8	輪島市	△ 8.4	輪島市	△ 4.5
19	珠洲市	△ 18.0	珠洲市	△ 9.9	珠洲市	△ 6.6
	石川県	△ 2.6	石川県	△ 0.8	石川県	△ 0.2

注　増減率 $\dfrac{\text{令和７年各年齢区分別人口－令和６年各年齢区分別人口}}{\text{令和６年各年齢区分別人口}} \times 100$

（4）１０年間（平成２７年～令和７年）の推移

総人口に占める割合について１０年間の推移をみると、年少人口は、県全体では平成２７年の１３．１%から令和７年の１１．３%へと１．８ポイント低下している。市町別にみると、かほく市以外の全ての市町で低下しており、低下幅が最も大きいのは川北町の６．３ポイントとなっている。

生産年齢人口は、県全体ではこの１０年間で５９．０%から５７．６%へと１．４ポイント低下している。市町別にみると、能美市及び川北町以外の全ての市町で低下しており、低下幅が最も大きいのは、輪島市の６．５ポイントとなっている。

一方、老年人口は、県全体ではこの１０年間で２７．９%から３１．１%へと３．２ポイント上昇している。市町別にみると、全ての市町で上昇しており、上昇幅が最も大きいのは、輪島市の９．１ポイントとなっている。

【表２、図３～５】

表2 年齢(3区分)･市町別人口割合の推移(平成27年･令和7年)

市町名	年少人口			生産年齢人口			老年人口		
	平成27年 (%)	令和７年 (%)	割合の増減 (ﾎﾟｲﾝﾄ)	平成27年 (%)	令和７年 (%)	割合の増減 (ﾎﾟｲﾝﾄ)	平成27年 (%)	令和７年 (%)	割合の増減 (ﾎﾟｲﾝﾄ)
石川県	13.1	11.3	△ 1.8	59.0	57.6	△ 1.4	27.9	31.1	3.2
金沢市	13.2	11.3	△ 1.9	61.9	60.5	△ 1.4	25.0	28.2	3.2
七尾市	11.1	8.5	△ 2.6	53.7	49.7	△ 4.0	35.2	41.8	6.6
小松市	14.2	12.3	△ 1.9	58.2	58.1	△ 0.1	27.6	29.7	2.1
輪島市	8.6	6.1	△ 2.5	48.0	41.5	△ 6.5	43.3	52.4	9.1
珠洲市	8.2	6.0	△ 2.2	44.6	38.7	△ 5.9	47.3	55.3	8.0
加賀市	11.5	9.7	△ 1.8	55.0	52.9	△ 2.1	33.5	37.4	3.9
羽咋市	10.8	8.7	△ 2.1	52.3	49.4	△ 2.9	36.9	41.9	5.0
かほく市	13.7	14.2	0.5	57.5	56.7	△ 0.8	28.8	29.0	0.2
白山市	14.5	13.0	△ 1.5	59.8	57.5	△ 2.3	25.7	29.5	3.8
能美市	15.5	12.9	△ 2.6	60.0	60.3	0.3	24.5	26.8	2.3
野々市市	15.0	13.4	△ 1.6	66.7	65.6	△ 1.1	18.3	20.9	2.6
川北町	20.4	14.1	△ 6.3	59.1	60.9	1.8	20.5	25.0	4.5
津幡町	15.0	12.9	△ 2.1	63.1	60.4	△ 2.7	22.0	26.7	4.7
内灘町	13.9	11.6	△ 2.3	61.5	58.7	△ 2.8	24.6	29.7	5.1
志賀町	10.2	7.4	△ 2.8	49.2	44.2	△ 5.0	40.6	48.4	7.8
宝達志水町	10.9	8.0	△ 2.9	53.4	49.9	△ 3.5	35.6	42.1	6.5
中能登町	12.7	10.6	△ 2.1	52.8	50.5	△ 2.3	34.5	38.9	4.4
穴水町	7.9	6.4	△ 1.5	46.0	41.1	△ 4.9	46.0	52.4	6.4
能登町	8.2	6.4	△ 1.8	45.1	38.8	△ 6.3	46.7	54.7	8.0

注　各年10月１日現在

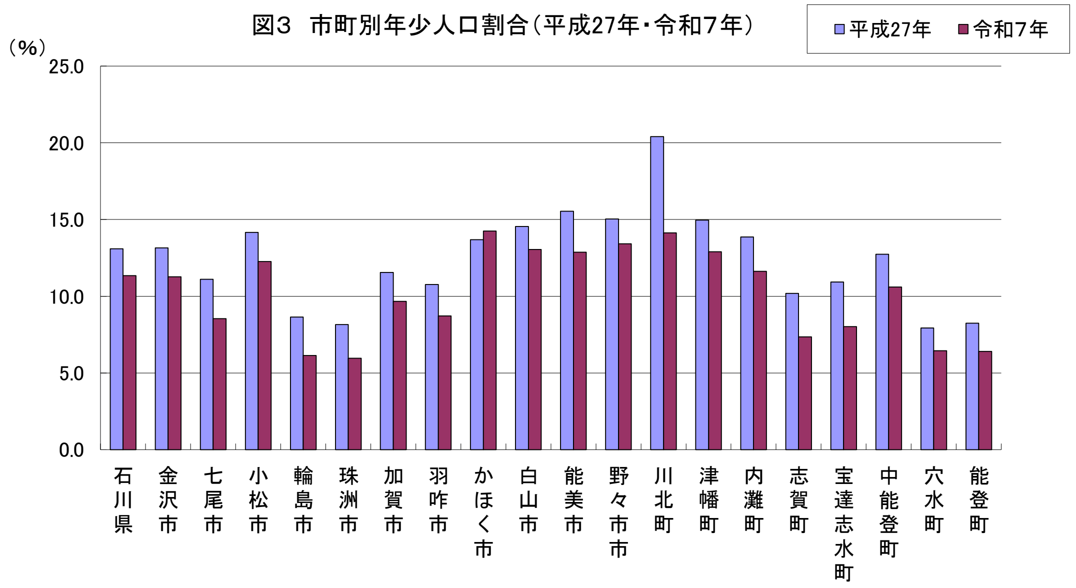


図3　市町別年少人口割合（平成27年・令和7年）
平成27年
令和7年
（%）
25.0
20.0
15.0
10.0
5.0
0.0
石川県
金沢市
七尾市
小松市
輪島市
珠洲市
加賀市
羽咋市
かほく市
白山市
能美市
野々市市
川北町
津幡町
内灘町
志賀町
宝達志水町
中能登町
穴水町
能登町

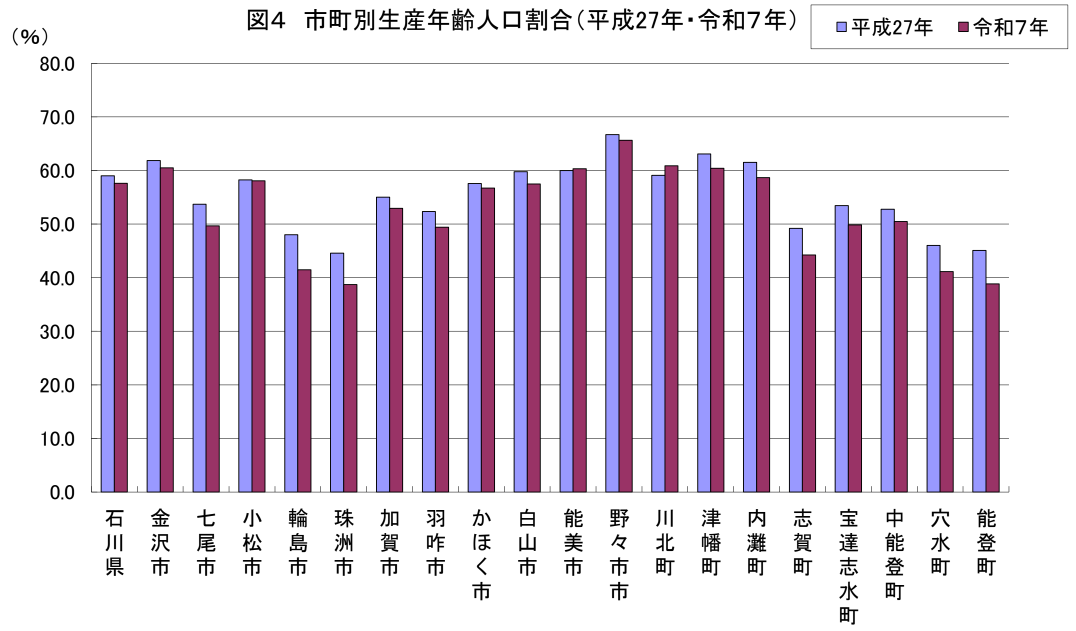


図4　市町別生産年齢人口割合（平成27年・令和7年）
平成27年
令和7年
（%）
80.0
70.0
60.0
50.0
40.0
30.0
20.0
10.0
0.0
石川県
金沢市
七尾市
小松市
輪島市
珠洲市
加賀市
羽咋市
かほく市
白山市
能美市
野々市市
川北町
津幡町
内灘町
志賀町
宝達志水町
中能登町
穴水町
能登町

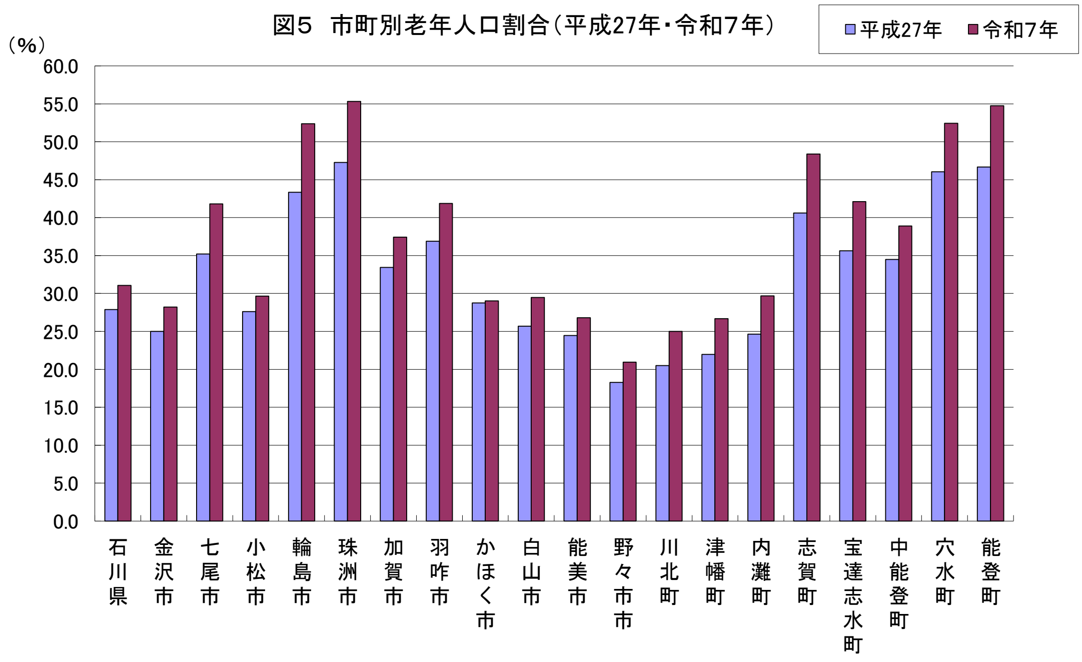


図5　市町別老年人口割合（平成27年・令和7年）
平成27年
令和7年
（%）
60.0
55.0
50.0
45.0
40.0
35.0
30.0
25.0
20.0
15.0
10.0
5.0
0.0
石川県
金沢市
七尾市
小松市
輪島市
珠洲市
加賀市
羽咋市
かほく市
白山市
能美市
野々市市
川北町
津幡町
内灘町
志賀町
宝達志水町
中能登町
穴水町
能登町

3　人口動態

令和６年１０月１日から令和７年９月３０日までの１年間で、自然動態は出生者数６，３８７人、死亡者数１４，５９５人で８，２０８人の減少だった。社会動態は県外からの転入者数２４，８０４人、県外への転出者数２５，２６９人で４６５人の減少だった。

【表３～５、参考表４】

表3　年次･要因別人口動態(平成27年～令和7年)

単位:人

年次	人口増減数	自然動態			社会動態(※)			国勢調査結果による補間補正数
		自然増減数	出生者数	死亡者数	社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数	
平成27年	△ 2,730	△ 3,205	9,263	12,468	153	22,345	22,192	322
28	△ 2,717	△ 3,278	9,052	12,330	88	23,110	23,022	473
29	△ 2,897	△ 3,858	8,773	12,631	487	23,717	23,230	474
30	△ 4,009	△ 4,257	8,485	12,742	△ 225	23,886	24,111	473
令和元年	△ 5,310	△ 4,766	8,048	12,814	△ 1,018	24,786	25,804	474
2	△ 6,549	△ 4,955	7,855	12,810	△ 2,067	21,755	23,822	473
3	△ 7,380	△ 5,791	7,404	13,195	△ 1,589	21,056	22,645	-
4	△ 7,319	△ 6,623	7,208	13,831	△ 696	23,573	24,269	-
5	△ 8,253	△ 7,963	7,013	14,976	△ 290	24,073	24,363	-
6	△ 11,043	△ 8,808	6,300	15,108	△ 2,235	23,851	26,086	-
7	△ 8,673	△ 8,208	6,387	14,595	△ 465	24,804	25,269	-

注１　各年の人口増減数は、前年10月から当年９月までの自然動態、社会動態及び国勢調査結果による補間補正数の計である。
　２　県外には国外・不詳を含む。

表4　市町別自然動態の順位(令和6年10月1日～令和7年9月30日)

順位	増加				減少			
	増加数(人)		増加率(%)		減少数(人)		減少率(%)	
1	野々市市	46	野々市市	0.08	金沢市	△ 2,756	珠洲市	△ 2.32
2					七尾市	△ 753	能登町	△ 2.16
3					加賀市	△ 740	輪島市	△ 2.04
4					小松市	△ 655	志賀町	△ 1.95
5					白山市	△ 619	穴水町	△ 1.81

注　令和６年10月から令和７年９月までの１年間の計である。

表5　市町別社会動態の順位(令和6年10月1日～令和7年9月30日)

順位	増加				減少			
	増加数(人)		増加率(%)		減少数(人)		減少率(%)	
1	金沢市	1,160	かほく市	0.93	輪島市	△ 924	珠洲市	△ 6.30
2	白山市	329	川北町	0.58	珠洲市	△ 677	輪島市	△ 4.61
3	かほく市	328	能美市	0.58	七尾市	△ 435	能登町	△ 2.36
4	能美市	278	津幡町	0.54	能登町	△ 321	穴水町	△ 1.99
5	野々市市	250	野々市市	0.43	内灘町	△ 196	七尾市	△ 0.95

注　令和６年10月から令和７年９月までの１年間の計である。